

2015年8月6日

**第66回日本電気泳動学会総会まで1ヶ月**

日本電気泳動学会会員の皆様

猛暑が続いておりますがご清栄のこととお慶び申し上げます。第66回日本電気泳動学会総会長を務めます福島医大の志村です。

さて、総会の開催まで、残すところ1ヶ月となりました。総会は9月4日(金)と5日(土)の2日間にわたって、東京工科大学蒲田キャンパス3号館をお借りして開催します。JRと東急の蒲田駅から徒歩2分という至近の距離にあり、すばらしい会場です。

会員は参加費無料。メール会員は2,000円。非会員もメール会員にご登録いただければ2,000円です。以下に総会の内容を簡単にまとめました。詳細は[第66回日本電気泳動学会総会ホームページ](#)をご覧ください。

9月4日、5日はスケジュール帳に「日本電気泳動学会総会」と是非ご記入下さい。総会でお目にかかれることを楽しみにしております。

第66回日本電気泳動学会総会長 志村清仁

第66回日本電気泳動学会総会 HP ([事前参加登録](#))

お問い合わせ先:

第66回 日本電気泳動学会総会事務局 志村清仁

〒960-1295 福島市光が丘1番地

福島県立医科大学 医学部 先端化学分野

E-mail: 66th-meeting@jes1950.jp ※ お問い合わせはメールでお願いします。

■ [シンポジウム1「電気泳動のフロンティア 2015」](#)

2日間にわたって絵巻物のごとくに展開される26の講演によって、電気泳動の可能性を広げる新たな試みと、最先端の研究において電気泳動が切り開くさまざまな局面を俯瞰します。

■ [シンポジウム2「電気泳動法と臨床検査 - 新たな発展に向けて」](#)

9月5日(土)の午後、6題の講演が、臨床検査において電気泳動が果たす役割を深く掘り下げ、将来を展望します。

■ [一般演題ポスターセッション](#)

22題のポスターを前に、最新の研究成果について、とことん議論していただきます。

■ 企業講演 (シンポジウム1会場にて)

日栄工業株式会社 (アフィニティークロマト・キャピラリー等電点電気泳動装置)

和光純薬工業株式会社

sainome 株式会社 (Diced Electrophoresis Gel Assay)

■ 企業展示（ポスター会場にて）

日栄工業株式会社

sainome 株式会社

和光純薬工業株式会社

株式会社 クリムゾンインタラクティブ・ジャパン

■ 総会懇親会

9月4日(金) 17:45 -20:00 3号館 12階学内ラウンジにて 会費 3000円（学生 1000円）

注目セッション「フォスタグ電気泳動」

シンポジウム1の目玉の一つ「フォスタグ電気泳動」について、セッション オーガナイザーの木下英司氏よりご紹介いただきました。

「フォスタグ電気泳動」のセッションについて

生体内におけるタンパク質のリン酸化反応は、その機能を制御するための重要な翻訳後修飾である。負電荷 (-2) を持つリン酸基がタンパク質に共有結合することにより、そのタンパク質の構造や性質は大きく変化し、酵素活性や局在性、他のタンパク質との複合体形成などをダイナミックに制御する。最近、タンパク質リン酸化研究への新たなアプローチとしてフォスタグ技術が、様々な生命科学分野において使用され始めている。特に、フォスタグ電気泳動法は、タンパク質のリン酸化状態（複数のリン酸化フォーム）の質と量の解析を可能にし、新たなリン酸化シグナル研究領域を開拓しつつある。本手法の最もユニークな利点は、リン酸化タンパク質をペプチド断片化せず、すなわち、タンパク質の貴重な分子量情報を失うことなく、リン酸化フォームごとの時間的・空間的な変動を捉えることができることである。このような他に類のない特徴を持つフォスタグ電気泳動法を用いて、今後、多くの生体内のタンパク質のキナーゼ/ホスファターゼ依存的なダイナミクスが詳細に解析されることが期待される。本セッションでは、このフォスタグ電気泳動を駆使することで細胞の生理機能やその機能破綻に関連するリン酸化タンパク質を高精度に解析した研究を幅広く紹介できるように企画した。最新の応用法に加え、最先端の成果を議論し、このフォスタグ電気泳動がもたらす生命科学研究へのインパクトを示したい。

木下英司・広島大学



MyRun II  
あいみらん [aimiran]

サブマリン型アガロースゲル  
電気泳動装置

あいみらん Q

  
メーカー略号：CBJ



ゲルトレイと泳動槽にUV透過性あり  
最大156サンプルの泳動が可能  
ミニゲルもセット可能  
高い静音性  
CE マーキング取得、UL 規格取得予定(申請中)、特許出願済

ビビットオレンジが、  
ラボを  
明るくしてくれます



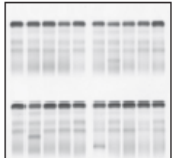


人と科学のステキな未来へ  
コスモ・バイオ株式会社

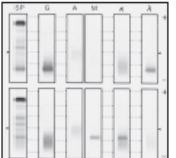



**蛋白分画・アイソザイムはもちろん  
免疫固定法(IFE)も全自動処理！**

多発性骨髄腫のフォローアップとして推奨されている  
蛋白分画および免疫固定法を全自動で行う事ができ、  
しかも従来に比べコンパクト・低価格を実現しました。



血清蛋白分画



免疫固定法 (IFE)

測定項目

- 蛋白分画
- IFE(免疫固定法)
- LDアイソザイム
- ALPアイソザイム  
(骨型ALP含む)
- CKアイソザイム
- AMYアイソザイム
- コレトリコンボ
- リボ蛋白分画

**多項目全自動電気泳動分析装置**

## エパライザ2 ジュニア

本社 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-21-19  
☎048-833-3208 FAX 048-833-3273 株式会社ヘレナ研究所

日本電気泳動学会企業会員

- |                        |                |            |
|------------------------|----------------|------------|
| アドバンテック東洋 (株)          | (株) エービーサイエックス | 癸巳化成 (株)   |
| コスモ・バイオ (株)            | (株) 島津製作所      | シャープ(株)    |
| ナカライテスク (株)            | (株) ナード研究所     | 日本エイドー (株) |
| バイオ・ラッド ラボラトリーズ(株)     | (株) ヘレナ研究所     | 和光純薬工業 (株) |
| (株)クリムゾン インタラクティブ ジャパン |                |            |

【日本電気泳動学会電子メール通信】は、日本電気泳動学会会員の皆様に配信しています。【日本電気泳動学会電子メール通信】に対するご意見をメールにてお寄せ下さい。ご意見を【日本電気泳動学会電子メール通信】に掲載希望の場合はその旨お知らせ下さい。【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問い合わせ】は、本会事務局 (secretariat@jes1950.jp) 宛お願いいたします。